

三浦学先生(宮城県涌谷高等学校)による授業レポート

○今後、SDGs カードを使う先生方へ

汎用性はとても高いです。先生方が日々の授業で行っていることを SDGs 的な見方・考え方でアウトプットさせることに簡単に利用できます。

三浦先生の授業、高校3年生(36名)への地理 A

○単元とねらい: SDGs のゴールと自分の考えをまとめてみよう

(詳細は次のページの学習指導案参照)

○児童・生徒の反応:

生徒たちは今まで学んできた SDGs について最後のまとめの授業に一生懸命に取り組んでいた。私自身、この 2 時間が出張で課題としてしまったが、生徒たちは SDGs の目標をどのように達成していくかを考える場となった。入学当初から SDGs についての授業を教科(地理歴史・公民科)の中で指導してきたが、教科教育で学んだことを SDGs の視点で考える力を養えたと思う。そして、今回頂いたカードを利用して、「自分が一番大切にするゴールを一つ選び、今後どのように自分のキャリアと接続していくか。」を考えさせたところ、自分の進路との関連についてと自分のゴールについて意思を表明していた。今回はスライドは一切作らず生徒と対話しながらの活動を行いました。卒業前の最後の授業を生徒たちと私自身楽しむことができたと感じました。

○授業風景



SDGs を学び、SDGs と社会の接続を考えた後に、SDGs カードを用いて「SDGs と私たちの生活」について 3 分以内の動画を作成。

高等学校 第3学年 地歴・公民科（地理）学習指導案（略案）

指導日時：令和元年1月22日（水）第3校時

指導学級：地理A選択クラス 36名

指導者：宮城県涌谷高等学校 教諭 三浦 学

1 単元名 「地理で学んだことをSDGsと関連させて表現してみよう」

2 単元の目標 「現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」とする高等学校学習指導要領（地理A）の目標に基づき、この単元では以下の2つを目標とする。

- 1) 国連から提唱されたSDGsの考えと現代社会を関連づけることを目標とし、社会課題を解決していこうとする意識を構築できる場を設ける。
- 2) 論理的な学びや他者との関わりの中でコミュニケーション力を高め、自らの者の考えや、見方を見つめ直し、自分のこととして考えられるようにする。

3 生徒の実態 本校では2年次で地理Aが必修科目になっている。それをもとに3年選択地理Aでは人間の生活と自然環境の関わりを中心に「主体的で対話的な深い学び（アクティブラーニング視点の学習）」とICT機器の利活用を融合させ、生徒自身が知識のインプットからアウトプットを測ることを目標としている。地図や資料の読み取り、討論、プレゼン作成を通しての主体的な学びを行っている。受講している生徒の実態は昨年からは、アクティブラーニング型の授業を通して、自分の考えを述べるができる生徒が多くなってきているが、中には消極的な生徒も見受けられる。特に、アクティブラーニング型の授業（ジグソー法）を取り入れたことで自分に役割が与えられるため、授業における自分の活動に責任を持って取り組むことができるようになった。授業では学校で管理しているiPadや生徒のスマートフォン等を利活用して生徒自らがアウトプットする学びを行っているため地理の授業には興味関心を持ち、意欲的に受講している様子が伺える。

4 指導内容について

(1) 題材名 「SDGsと私たちの生活」

(2) 本時のねらい

- ①SDGsが私たちの生活と関連していることを理解する。
- ② ICT機器の利活用を通し、情報収集から生徒の学びのアウトプットまでを効果的に行う。
- ③ エキスパート班で学習したことをジグソー班でCLIPsを利用し、動画を作成することができる。
- ④ 情報活用能力の育成にも力を入れたい。情報活用能力とは「世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉えて把握し、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力」のことである。本授業においても、生徒が持っている知識と新たに得る知識の融合をめざしていきたいと考えている。

(3) 評価規準

| 評価の観点 | 具体的評価規準 |
|----------|--|
| 関心・意欲・態度 | SDGsと私たちの生活に関わりがあることを理解しようとする。 |
| 思考・判断・表現 | ・ジグソー法での学習活動やCLIPsでの動画作成に意欲的に取り組み適切に表現している。 ・生徒が持っている情報とグループワークで得られる新たな知識を融合させ、協働的な学びの場を構築しようとする。 |

(4) 学習指導上の工夫

- ・ 生徒が自主的に調べ、考えた解答を記入できる教材を準備し、生徒の考えを尊重できる授業空間をつくる。
- ・ 生徒が興味関心を持てる教材を準備し、学習に生徒が親しみやすくする。
- ・ 生徒が授業の振り返りをしっかりと行えるようにループリックを用いた自己評価ができるようにする。
- ・ ICT教材を有効に活用し、生徒たちの活動を多くする機会を与える。

(5) 準備物

教科書、地図帳 iPad、スクリーン、プロジェクター、SDGsカード（JICA）

(6) 授業の展開

| 段階 | 学習活動と主な発問 | 形態 | 指導上の留意点 | 評価 |
|--|---|----------------------------------|---|---|
| 1 時間目 導入 (5分) | 本日の学習について説明をする。 本日から学習について知らせる。 | 一斉 | 生徒に授業におけるゴールを提示し、本日から3時間かけて行う内容を知らせる。 | |
| 1 時間目 展開 (10分) (10分) (35分) | 「SDGs についての復習」 問 SDGs って、何？ SDGs についての内容をレクチャーする。 SDGs と社会との接続を考える。 作業内容 ①自分たちがまとめる SDGs のゴールを決める。 ②動画の構成を考える ③次の視点を必ず入れる。 ・「理想の未来」を考える ・理想の未来を達成するための行動プラン ・現在の課題について | グループ活動 一斉 グループ活動 グループ活動 | グループごとに SDGs について復習を行う。 教師が SDGs について指導する 各班毎に進捗状況を確認しながらアドバイスする。 理想の未来を築くためには自分たちが行動を起こすことで変化の可能性を伝える。 | 【知識理解】 SDGs について概観できる。 【表現】 グループ内で協力して調べ、まとめることができるか。 |
| 2 時間目 (20分) (30分) | 1 時間目の続きを行う。 アプリ「CLIPs」の使い方を学ぼう ①iPad を配布する。 ②アプリ「CLIPs」の使い方の確認 まとめたことを動画で表現しよう ・SDGs と私たちの生活の関係を動画にする。 ・動画は「3分以内」にする。 | グループ活動 | JICA の SDGs カードを利用することを伝える。 CLIPs の利用の方法を確認する。」 | 【思考・表現】 グループ内で協力して動画を作成する。 |
| 3 時間目 (10分) (20分) (20分) | 作成した動画をどのように発表をするかグループごとに確認する。 ・作成した動画のポイントを考え、どのように他のグループにアピールするかを考える。 作成した動画を発表する。 ・他のグループの動画で質問したいことを「問い」をつくりながら聞く。 SDGs カードを利用して自分が SDGs のゴールで大切にしたいことを考える。 ・グループごとに自分と SDGs の関わりを考え、それについて発表する。 | グループ活動 一斉 グループ活動 | 作成した動画をどのように他のグループに伝えるかを確認する。 他のグループが作成した動画に疑問を持ち、発表を聞くことを伝える。 SDGs のまとめとして、自分が今後のキャリアの中で SDGs とどのように向き合っていくかを考え発表する。 | 【表現】 伝えたいことを短い言葉で伝達できるか確認する 【思考】 批判的思考ができているか考える。 【表現】 自分の言葉で表現することができる。 |